

吉れくる心の中

列すろぎ 終つた

九月もろと三日で終る

九月重い月だつた

一人のへル人が来るくたつて一ヶ月

ふれかこ山加のさあざだつた

季節のうつりかゆもストレスのむとつた

雨ばかりふつてそのあともどかるとあつた

乗つたつと季節とあは十月をむかふことか

虫系そろだ

その雨いろん存ことと学んた

どうも人を正画しかたつるかいとあつた

新しくい人が乗ると申し送り、いさゝか

ある

それもあるそれわあつた会社だからやりた

くいるとはわがる

今年とけといふうた こんがねれしあつた

よいいばあつた 声も虫も来るくうた

きんちあつた

この人つたあつた 知ろあつた

ひとつの彼女がどこへ行ってしまったのか
 この方面があるとはわづらひ
 まろむとつしやどりたしやてつていれ人
 私との会話をゆるせし新らしんへの
 復胡しやい
 もつほう復胡明の神助をしこしあう
 それく冷群のなく守つてしきつてい
 つたえむ力の大印をしくぐ感じ
 ここで大印がふきやがある
 人がいつもあはえその心の中におもえまう

手紙を見ぬハル
 これあは心して接して行こう
 ひとつでもおこても勉強にと
 すぐあかつた

2020
9/28